

後藤象二郎ギャラリー

中京の寓居跡 新設ホテルが設置

明治維新に大きな役割を果たした土佐藩士、後藤象二郎(1838〜97年)寓居跡がある京都市中京区大黒町(河原町三条)に開業する「ホテルリソル京都河原町三条」の1階に記念ギャラリーが設置された。ホテルと共に6月1日にオープンし、宿泊客以外でも無料で観覧できる。午前9時〜午後8時。

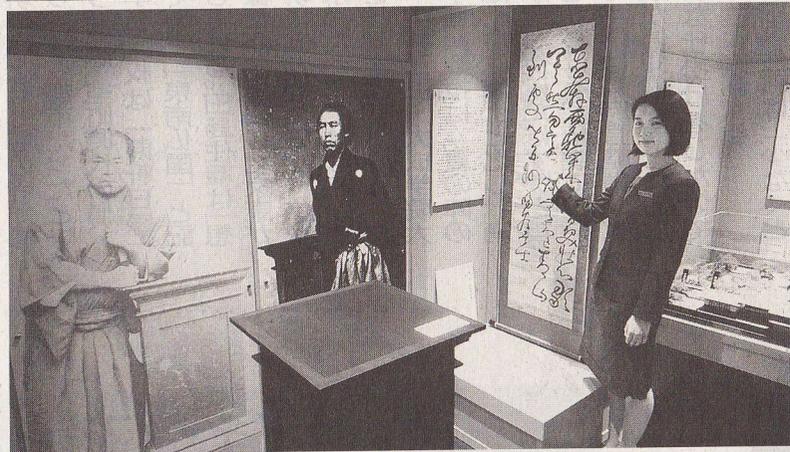
土佐藩重臣の象二郎は慶応3(1867)年以降、坂本龍馬と親交を深め、龍馬の新家構想に共鳴。前藩主の山内容堂を通じて徳川慶喜に大政奉還を建白したとされる。象二郎は京都滞在中、藩邸に近い醤油問屋「重屋」に起居しており、ホテ

ルは跡地に建設された。ギャラリーは象二郎と龍馬の写真パネルや象二郎の直筆の書、壺

屋周辺の街並みのジオラマ、幕末史跡地図などを展示。象二郎と龍馬が長崎の写真館で立ち姿を撮影した際の撮

影台が復元され、同じポーズで記念撮影を楽しめる。問い合わせは同ホテル(075・255・9269)。

【村元展也】



幕末の土佐藩士、後藤象二郎(写真パネル左)の寓居跡に開業するホテル1階に設置された記念ギャラリー—京都市中京区で